

第165回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成23年1月6日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル会議室

3 委員の出席 委員総数 8人  
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 青木 敬信(委員長)  
早川 富美子(副委員長)  
片岡 真理  
古磯 勝子  
森内 律子  
岡田 好弘  
片山 貴之

(2) 欠席委員の氏名 島田 恭子

(3) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)  
佐藤 望(放送部部长)  
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

12月24日に放送した「宇都宮PRIDE 愉快的ラジオ!」について、  
試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、平成22年12月からの新番組で、毎週金曜日の11時30分から  
12時50分に放送しているものであり、

宇都宮市で活躍している市民や、観光スポット、グルメ、ジャズなどを紹介する番組です。

また、この番組については、宇都宮市が、国の雇用対策「ふるさと雇用基金再生事業」  
を使った市のブランドイメージを高めるための番組で、制作にあたっては、  
新規に契約社員を採用。DJには、フリーアナウンサーの須賀由美子、  
ディレクター・ミキサーには、経験者を起用しています。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員 D J、リポーターとも、明るく爽やかな声で、心地のよさを感じた。  
お昼という放送時間帯に合っていると思う。

事業者 行政が提供する番組は、比較的硬い内容のイメージがあったが、  
この番組は、庶民的な雰囲気を感じられるものになっている。

委員 コーナーの切替で使っている市民の声を使ったジングルが良い。  
今後、よりたくさんの人々の声を使ってほしい。

委員 情報がもりだくさんの内容ではあるが、ややまとまりにかけ印象を持った。  
「餃子」や「ジャズ」など、既にある程度イメージが浸透しているものを  
あれもこれもと紹介するのではなく、これまではあまり取り上げられることが少なかった  
隠れたスポットや、宇都宮で地道に活動を続けている芸術家などを取り上げるなど、  
この番組ならではの独自色を打ち出してほしい。

委員 今後のインターネット等を利用した放送を考えた上で、  
従来は本放送を聴くことが出来なかった人たち、  
例えば、県外に住んでいる宇都宮市出身者や、宇都宮に興味を持つ人に向けては、  
このようにローカル色を強く意識した番組作りも必要になってくるはず。  
より興味をもたせるコンテンツ作りに努めてほしい。

委員 ふるさと雇用基金再生事業の制度を活用した番組ということだが、  
採用した3名は、どのような人たちか？

事業者 栃木県内にはなかなか放送関係の仕事の経験者がいなく、新人も採用している。  
成長を期待したい。また、2月からは、同じ制度を利用した、  
さくら市が提供する番組もスタートすることになっている。

委員 新しいユニークな取り組みだと思う。半年後、1年後に、また試聴したい。

委員 リポート中継の際の、D Jとリポーターの掛け合いが楽しかったが、  
2人の声の音質や音圧の差に違和感を感じた。  
また、中継先の騒音が若干うるさく感じた。

委員 “プライド”、“愉快的”という2つの並列しているタイトルのうち、  
どちらかという、より“愉快的”の方に傾倒しているように感じた。  
今後、もの作りへのこだわりや個性の強い人たちをゲストにするなどの工夫がほしい。

(以上)

(3) その他  
なし

(4) 次回開催日程について

次回の開催を3月3日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 1月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし